



Japan Water Forum

日本水フォーラム

# 特定非営利活動法人日本水フォーラム 令和4年度 評議会

## 《 議 事 次 第 》

日 時：令和4年12月7日(水)15時15分～16時45分(開場15時)

場 所：主婦会館プラザエフ9階 スズラン

開 会

1.ご挨拶

2.活動報告

3.評議員の皆様による評議(各評議員3分)・意見交換

閉 会

## 第4回アジア・太平洋水サミット概要

- 開会式には、天皇皇后両陛下にオンラインによるご臨席を賜り、また会場の熊本城ホールには海外からの来賓を含め約700名が出席（会議全体では、のべ5500人が参加（オンライン参加含む））
- 日本政府からは岸田総理大臣、斉藤国土交通大臣をはじめ、多くの方々が参加
- ユースによるサミット開始宣言の後、天皇陛下による「人の心と水-信仰の中の水に触れる-」と題した記念講演が行われた



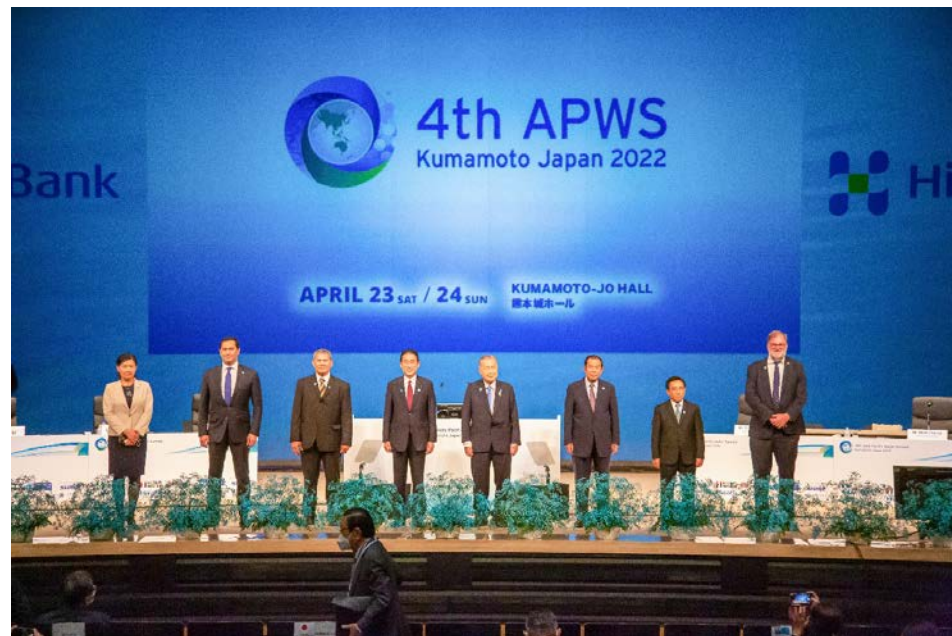
期日	2022年4月23日(土)、24日(日)
会場	熊本城ホール(熊本中央区桜町)及びオンライン
主催	アジア・太平洋水フォーラム(APWF)と熊本市の共催
全体テーマ	持続可能な発展のための水～実践と継承～
会議の公式言語	日本語／英語
関係省庁の協力	2019年3月26日、閣議了解(外務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣の共同による閣議請議)

首脳級は18か国・閣僚級は22か国(日本含む)が参加(オンライン参加及びビデオメッセージ参加含む)

カンボジア、ツバル、ラオス、ウズベキスタン、ブータン、ベトナム、インドネシア、キルギス、スリランカ、タイ、タジキスタン、トルクメニスタン、ナウル、ニウエ、フィリピン、バングラデシュ、マーシャル諸島、インド、ブルネイ、カザフスタン、モルディブ、シンガポール、パラオ、フィジー、アゼルバイジャン、韓国、ソロモン諸島、ネパール、モンゴル、アルメニア、日本



## 首脳級会合／熊本宣言

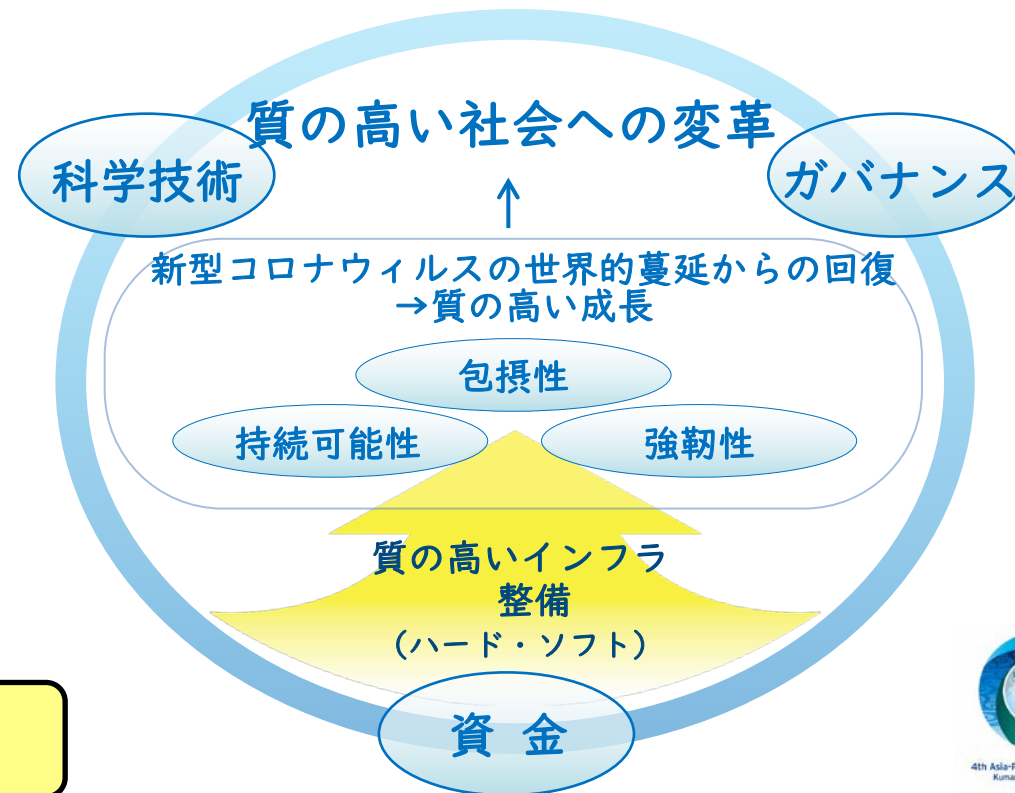


- 首脳級会合にて「熊本宣言」が採択された(右参照)
- 岸田首相が、アジア太平洋地域における水を巡る社会課題に対し、質の高いインフラ整備等に、今後5年間で約5,000億円の支援を実施する「熊本水イニシアティブ」を発表

熊本宣言: コロナ禍からの回復において、強靱性、持続可能性、包摂性を兼ね備えた質の高い社会への変革が必要であり、取組みの加速に向けて、「ガバナンスを整える」、「資金ギャップを埋める」、「科学技術へ要望する」ことを宣言

第4回 APWS テーマ

持続可能な発展のための水 ～ 実践と継承～



23年3月の国連水会議にて4APWSの成果を発信予定

## ストックホルム世界水週間2022

- 日時：22年8月23日-9月1日
- 開催地：ストックホルム（ハイブリッド）
- テーマ：見えないものを見る：水の価値  
Seeing the Unseen: The Value of Water

- ◆ アジア・太平洋水フォーラム（APWF）として、ファイナンス、水循環管理、アジア水開発展望データ管理、ガバナンスの4つのセッションを開催
- ◆ Northern Water Partnership (NoWNET) として、自然を活かした解決策に注力したセッションを開催

## COP27

- 日時：22年11月6-18日
- 開催地：エジプト／シャルム・エル・シェイク（ハイブリッド）

- ◆ 水パビリオンにて、健全な水循環管理と流域治水を通じた災害リスク低減と気候変動への適応について発表
- ◆ UNFCCC（国連気候変動枠組条約）の公式サイドイベントである、気候変動適応とレジリエンスへのより効果的な投資への行動に関するセッションにおいて、パネリストとして参加

## IWA世界水会議

- 日時：22年9月11日-15日
- 開催地：コペンハーゲン
- テーマ：スマートで住みやすい都市のための水  
Water for smart liveable cities

- ◆ 展示会でのブース出展（右写真）
- ◆ セッション聴講による情報収集



## 国連水会議

- 日時：23年3月22-24日
- 開催地：ニューヨーク国連本部
- 国連「水の行動 10 年」2018年-2028年の取り組み状況の中間評価を行うもの

- ◆ 10月24日の国連水会議ステークホルダー準備会合において、APWF事務局として、「キャパシティ・ディベロップメント」に関するステートメントを発信
- ◆ 本体会合への参加／セッション開催（予定）
- ◆ 展示会等でユース水フォーラムの活動を発信（予定）

## 開催概要

- 日時: 2022年3月21-26日
- 開催地: セネガル・ダカール
- 主催: 世界水会議 (WWC)、セネガル共和国政府、ダカール市
- テーマ: 平和と発展のための水の安全保障  
Water Security for Peace and Development



参加御礼フライヤーより抜粋

## JAPAN Boothの出展

- 展示会にて、官民一体となって我が国の取組みを情報発信
- 企画調整: 日本水フォーラム

省庁等:	内閣官房 水循環政策本部事務局、国土交通省、林野庁、環境省、JICAセネガル事務所
公益団体等	地球環境戦略研究機関 (IGES)、国連大学サステナビリティ高等研究所 (UNU-IAS)、日本水フォーラム、ユース水フォーラム・九州
企業	(株)トーテツ、(株)地圏環境テクノロジー



JAPAN Boothの出展

## テーマ別議論への参画 日本からの発信: 「気候変動適応」「協力」

開催日	セッション名
3月21日(月)	IF3. 「データと知識に基づく解決策を通じたレジリエンスの構築: 水関連リスクの特定、モニタリング、早期警戒、評価」 主催 中国水資源水力調査研究所 (リード組織)、日本水フォーラム、国際流域組織ネットワーク (INBO)
3月23日(水)	3F2. 「アジアとアフリカの持続可能で、強靱で、包摂的な水資源管理に向けた多様な利害関係者パートナーシップの地域化」 主催 アジア・太平洋水フォーラム (APWF) (事務局: 日本水フォーラム (リード組織))
3月24日(木)	1F2. 「戦略・計画、社会的な能力向上を通じた、気候変動、危機、極端な水災害に対する回復力と適応力の向上」 主催 日本水フォーラム (リード組織)、国際流域組織ネットワーク (INBO)、国連砂漠化対処条約 (UNCCD)、The Borders Institute Africa

## 「京都世界水大賞2022」授賞式を実施

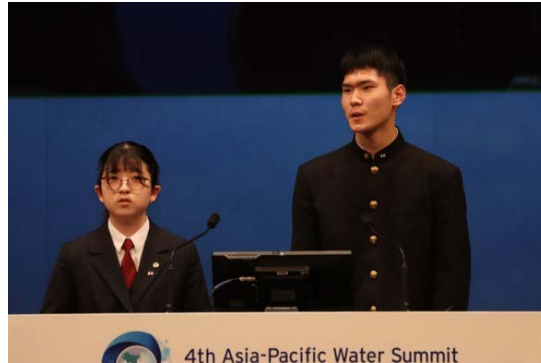


主催: 京都市、日本水フォーラム、WWC  
受賞団体: プラガッティ (インド、南オリッサ州コラプット地区)

## (1) 動画制作活動及び4APWS/9WWFでの発信

新規事業初年度にあたる2021年度は、「ユース水フォーラム・九州」を主体とし、動画募集を通じてユースの水に関する取組を推進した。

- ユースから、水に関する短編動画(英語)を応募してもらい、30作品をウェブサイトやSNSで、インターネット上で公開・発信
- 第9回世界水フォーラムで応募作品を展示
- 第4回アジア・太平洋水サミット(4th APWS)の各種プログラムに参画



## (2) 現場視察イベントの開催

流域の歴史と、流域の安全と経済発展を支える現場を視察し、ユースたちに身近に「SDGs」への関心を持ってもらい、ユースたちの「地理総合」の学習に貢献していくことを目的として実施した。

- イベント名 : 雄物川の歴史と成瀬ダムを巡るSDGs
- 日時 : 2022年10月22日(土)
- 場所 : 雄物川土地改良区/成瀬ダム工事現場内他
- 参加者 : 関係者含め16名



## (3) ユース2022動画報告会(仮)を開催予定

ユースの社会への発信をテーマとし、ユースの動画発表や有識者も交えたパネルディスカッションを通じて、ユースの活動発信とユース自身のネットワークづくりを目的として実施する。

- 日時 : 2023年2月4日
- 場所 : 都内/オンライン
- 参加者 : 有識者/2022年度動画応募者

## (4) 国連水会議でユースの活動を発信予定

国連水会議では、本会議の他に展示やサイドイベントも多く行われる。この会議は、4 APWS で誕生したユース水フォーラムの活動を発展させる場、また水に関わるユース育成の場として最適であることから、ユースが現地にて参加予定である。

- 日時 : 2023年3月22-24日のいずれか
- 場所 : 国連本部あるいはその周辺
- 参加者 : 2022年度動画応募したユースの中から代表者



応募動画の一部